

「葉っぱのぐそをはじめよう ーうんこはごちそうー」

すべての生き物にとって、生きる基本は食べて出すこと。食べ物も出すものもまるで違う植物・動物・菌類は、自然の中で共生し、無限に命が続く生態系の循環を作り上げた。ところが、豊かさや快適さを求める人類は、自然との共生を忘れ、環境を破壊し、食料・資源を枯渇させ、危険なゴミをばら撒き、地球規模での危機を招いてしまった。それに加えて、地球温暖化による異常気象や地震、津波など巨大災害の多発。

災害を生き抜き、安心して暮らせる環境を取り戻すために、生態系の循環を理解し、誰でもできる本物の自然との共生を新たな視点から紹介します。



- 【講師】 伊沢正名（糞土師）
【日時】 2017年3月14日（火） 14:00～16:00
【会場】 カフェ・エクレシア蔵前店 （都営浅草線・大江戸線「蔵前」下車）
東京都台東区蔵前 2-7-6 TEL 03-3863-2338

<http://www.cafeecclesia.com/>

【申込】 organhouse2016 @ gmail.com（お問合わせもこちらまで）

【受講料】 2000円（お茶付き）

* 副読本として「葉っぱのぐそをはじめようー糞土思想が地球を救うー」（山と溪谷社刊）を割引価格 1,200円にて販売します。



糞土師：伊沢正名（いざわ まさな）

1950年

茨城県の田舎町に生まれる。人間不信に陥り、仙人を夢見て高校中退。
仙人修業の貧乏山旅の先々で、人情味溢れる思わぬやさしさに出会い、社会復帰を決意する。

1970年

自然保護運動を始める。

1974年1月1日

信念を持って野糞を始める。

1975年

キノコ、コケ、変形菌など、菌類と隠花植物専門に写真活動を本格化する。

1990年

伊沢流インド式野糞法を確立。

1999年

年間野糞率 100%を達成。

2003年2月25日

野糞千日行を成就。

それ以降 2013年7月15日まで、13年と45日（4793日）の野糞連続記録を樹立。

2006年

糞土師を名乗り、糞土研究会を設立。

2007年～2009年

野糞跡掘り返し調査実施（夏場と冬場・キノコ発生と糞土の味見、総数 184 糞）。

土中でのウンコ分解の実体を明らかにする。

2008年

『くう・ねる・のぐそ』（山と溪谷社、1500円＋税）刊行。35年間の野糞生活の
全容と、科学と哲学でウンコに迫る。2014年に文庫化（ヤマケイ文庫、980円＋税）

2013年

『うんこはごちそう』（農山漁村文化協会、1600円＋税）刊行。

2017年

『葉っぱのぐそをはじめよう』（山と溪谷社、1400円＋税）刊行。

